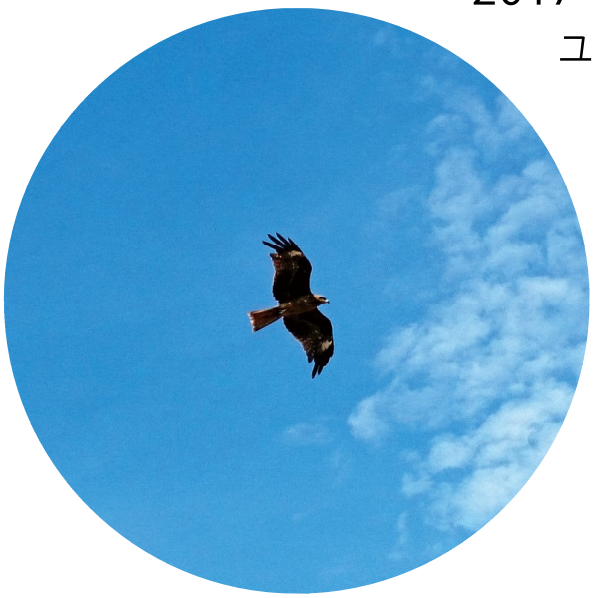
人間と演劇研究所特別講座 2017.7.15-17

琵琶湖和邇浜「からだとことばのレッスン」ワークショップ合宿

2017 年 7 月 15 日 (土) ～ 17 日 (月)

ユースホステル和邇浜青年会館（滋賀・琵琶湖畔）



◇日程：2017 年 7 月 15 日 (土) ～ 17 日 (月)
（15 日 13 時 JR 和邇駅集合・17 日 16 時 30 分 JR 和邇駅解散）
◇会場：ユースホステル 和邇浜 (わにはま) 青年会館
〒520-0523 滋賀県大津市和邇南浜 403 電話 077-594-0244
◇定員：10 名
◇費用：38,000 円　レッスン参加費・宿泊費・食費込
（駅から会場までのタクシー代・懇親会費用は別途）
◇申込み・問合せ　瀬戸嶋宛メール karadazerohonpo@gmail.com
または電話 090-9019-7547 でお願いします。
◇研究所ホームページ　http://ningen-engeki.jimdo.com/
ブログ　http://karadazerohonpo.blog11.fc2.com/

「からだとことばのレッスン」は、演劇表現のレッスンをもとにしています。舞台という極度の緊張を求められる場面で自己を表現するためには「心身の解放」と「深い集中力」が求められます。
「からだとことばのレッスン」は、演劇のトレーニングをめざすわけではありませんが、「心身の解放」の手立てとして「野口体操」を、「深い集中力」の開発のためには「竹内敏晴レッスン」を、それぞれに応用しながらレッスンを組み立てていきます。
その場に集うワークの仲間たちの中で、日常に押し込められた自分を超えて、自らの「いのち」の輝きを解き放ち、あらたな自分を表現する。そんな機会と体験を提供します。
合宿を終え家路につくころには、明るく開かれた自分と、それを照らす周囲の光景とに静かな喜びを感じることでしょう。

第一日目（15 日）　野口体操（「からだ」をひもとき、「からだ」の流れを回復する）
第二日目（16 日）　声のレッスン（「こえ」と「からだ」の響き合い）
第三日目（17 日）　宮沢賢治童話の朗読（物語を題材にした「ことば」のレッスン）

「コミュニケーションが苦手な人」「声や言葉に不自由を感じている人」「心身の緊張が気になっている人」「自分の生き方に問題を感じ、或いは迷っている人」「本当の自分を求める人」「自分の可能性を試したい人」「自分の仕事や生活に深みと豊かさを求める人」「いまこの時を生き生きと楽しみたいひと」等々、そんな様々な人たちがレッスンに参加してくれています。日常生活を生き抜く困難からいっとき身を引いて、その厳しさを離れ、深く「安らぎ」思いきり「遊ぶ」。そして生きる力を得て日常へと帰っていく。合宿ワークショップは「からだ」と「こころ」のオアシスなのかもしれません。

《WS 指導担当》
瀬戸嶋 充・ぼん　　人間と演劇研究所代表、1981 年より野口三千三（体操教師・野口体操創始）竹内敏晴（演出家・からだとことばのレッスン創始）の両氏に師事。1988 年人間と演劇研究所設立。以来「からだ」「こえ」「ことば」の研究と実践に従事する。そのほか、内観療法、禅、丹田呼吸法など、日本の伝統に根ざした心身修養法を学ぶ。人間と演劇研究所代表、日本ソマティック心理学協会会員、ＳＰＮ（ソマティック・プ ラクショナー・ネットワーク）世話人。